

令和 8 年度 静岡県スポーツ推進審議会

期 日 令和 8 年 8 月 20 日 (木)

時 間 14 時から 15 時 30 分

会 場 県庁別館 20 階第一会議室 A

次 第

1 開会

2 挨拶

3 会長・副会長の選出

4 審議事項

(1) しずおかスポーツ産業ビジョンの進捗報告 (資料 1)

(2) スポーツ施策の取組状況について (資料 2)

5 閉会

< 資料 >

資料 1 しずおかスポーツ産業ビジョンの進捗

資料 2 スポーツ施策の取組状況

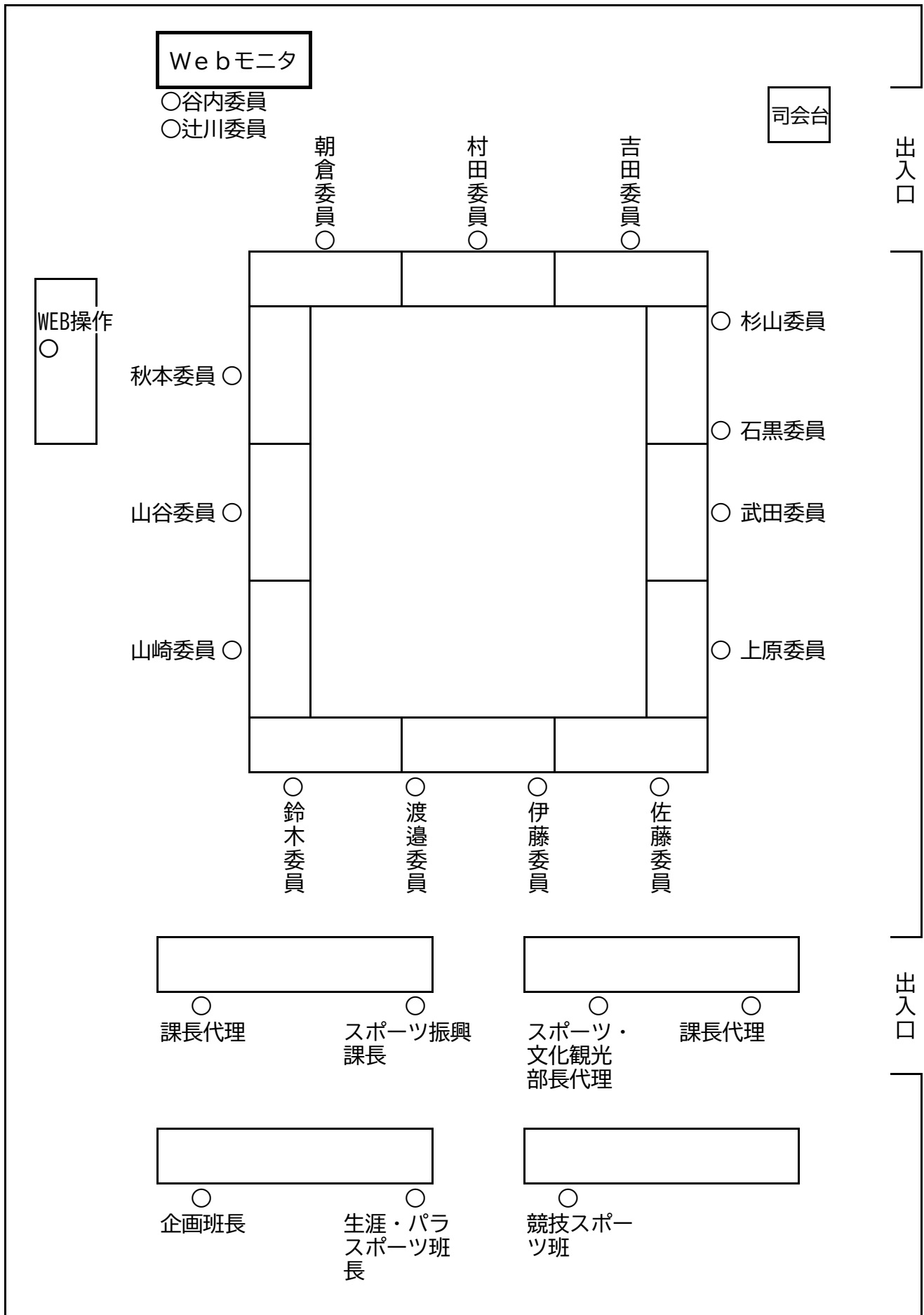
< 参考資料 >

参考資料 1 静岡県スポーツ推進審議会条例

参考資料 2 しずおかスポーツ産業ビジョン(概要及び本文)

令和8年度静岡県スポーツ推進審議会
座席表

別館20階第一会議室A



令和8年度 静岡県スポーツ推進審議会名簿

(委員)

氏 名	期数	職 業	備考
アキモト ケイコ 秋本 啓子	5	公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会 専務理事兼事務局長	
イワミズ モトエ 岩水 素江	5	特定非営利活動法人菊川市スポーツ協会 会長	欠
スギヤマ カツヒデ 杉山 克秀	5	静岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 会長	
ヨシダ サオリ 吉田 早織	4	常葉大学 健康プロデュース学部准教授	
タニウチ アサコ 谷内 麻子	3	あさこ婦人科クリニック院長	WEB (途中退席)
ナガサワ シゲフミ 長澤 滋文	3	静岡県中学校体育連盟 会長	欠
ムラタ シンイチ 村田 真一	3	国立大学法人静岡大学 准教授	
ヤマヤ タカシ 山谷 拓志	3	静岡ブルーレヴズ株式会社 代表取締役社長	
イングロ 石黒 えみ	2	亜細亜大学健康スポーツ科学部 健康スポーツ科学科准教授	
ソノダ ヤスクニ 薮田 靖邦	2	川根本町町長	欠
タケダ トモミ 武田 知己	2	静岡県スポーツ協会 専務理事	
ツジカワ ヒロト 辻川 比呂斗	2	順天堂大学保健看護学部准教授	WEB
ヤマザキ イサコ 山崎 伊佐子	2	フジ物産株式会社代表取締役	
ウエハラ ヒロヒコ 上原 広彦	2	株式会社静岡新聞社 編集局長	
アサクラ トオル 朝倉 徹	2	静岡県高等学校体育連盟 会長	
スズキ マサオ 鈴木 真佐雄	新	静岡県スポーツ推進委員連絡協議会 常任理事	
ワタナベ アキ 渡邊 亜紀	新	NPO法人JUNSHIN SPORTSCLUB 理事長	
イトウ マキ 伊藤 麻希	新	静岡産業大学スポーツ科学部 准教授	
サトウ ヒロヤス 佐藤 弘康	新	静岡県レクリエーション協会 理事長	

(事務局)

氏 名	役職名
川口 茂則	スポーツ・文化観光部長代理
稲葉 晴伸	スポーツ振興課長
金子 雅也	スポーツ振興課長代理
藪崎 裕一	スポーツ振興課長代理

SHIZUOKA SPORTS INDUSTRY VISION

しずおかスポーツ産業ビジョン

指標の進捗状況（評価報告）

計画期間：令和7年～令和17年

対象年度：令和7年度（最新値）※一部令和4年度あり

静岡県 スポーツ・文化観光部
スポーツ振興課

目次

TABLE OF CONTENTS

1

しずおかスポーツ産業ビジョンについて(概要)

- ・ 背景と目指すべき姿
- ・ 施策体系：5つの施策と市場規模目標

2

評価結果

- ・ 施策別市場規模
- ・ 施策別 K P I

3

県内スポーツ市場規模の評価

- ・ 県内スポーツ市場規模評価
- ・ 施策 1 みるスポーツの拡大
- ・ 施策 2 産業×スポーツの共創事業
- ・ 施策 3 県外からの誘客
- ・ 施策 4 地域スポーツの振興

4

KPIの進捗評価

- ・ 施策 1 みるスポーツの拡大
- ・ 施策 2 産業×スポーツの共創事業
- ・ 施策 3 県外からの誘客
- ・ 施策 4・5 地域スポーツの振興と人材育成

5

主な課題と対応方針

- ・ 施策 1 みるスポーツの拡大
- ・ 施策 2 産業×スポーツの共創事業
- ・ 施策 3 県外からの誘客
- ・ 施策 4 地域スポーツの振興
- ・ 施策 5 人材育成

6

まとめ

- ・ 今後の主な方向性
- ・ 参考：スポーツ関連市場の動向

しずおかスポーツ産業ビジョンについて（概要）

～背景と目指すべき姿～

背景

- 国は「日本再興戦略2016」でスポーツ産業の市場規模拡大を掲げ、成長産業化を推進
[5.5兆円(2015)→15兆円(2030)]
- 本県はスポーツ資源・企業の集積など、成長産業化に向けた条件が整っている
- 多様な地域資源と県内外の企業・スタートアップの力を融合し、新たなスポーツビジネスを創出することが重要

10年後 本県の目指すべき姿

「スポーツ・コネクティッド・フィールド」の実現

～ スポーツによって人、企業、地域等が繋がり、新しい価値が常に創造される県 ～

- 産業の新機軸として経済が活性化されている地域
- 様々な主体が融合し、常に新たなイノベーションが創出される地域
- 収益が地域に還元され、持続的なスポーツ環境が確保された地域
- 様々な人材が育成され、夢を描くことのできる地域

～施策体系：5つの施策と市場規模目標～



現状 → R17年度目標

現状 → R17年度目標



現状 → R17年度目標



現状 → R17年度目標

現状 → R17年度目標

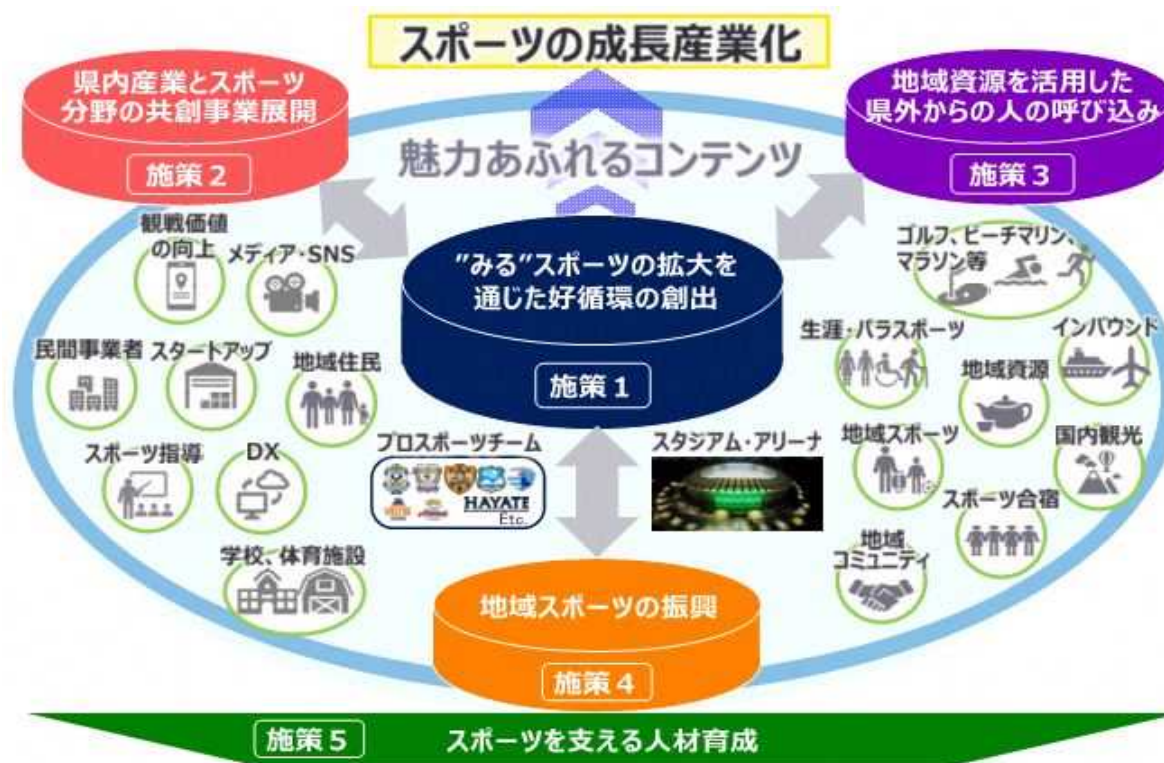


R17年度目標

※市場が限定的であり算定困難

＜施策展開の概念図＞

プロスポーツを中心とした“みる”スポーツの拡大に先行して取り組み、その成果を他施策へ波及させる好循環を創出



2

EVALUATION RESULTS

評価結果～施策別市場規模～

【総括】

- ◆ 全体の指標となる県内スポーツ市場規模の全体額は、3,097億円であり、“みる”スポーツを中心とした需要の拡大等により、期待値を上回って順調に推移している。
- ◆ 個別の施策では、施策3(県外からの誘客)が、観光需要の拡大により、期待値に対して68億円の上振れとなっているが、一方で、施策4(地域スポーツの振興)では、部活動の地域展開が過渡期であることなどから、期待値に対して▲56億円となっている。

区 分	県内市場規模(億円)			分析・評価
	R7策定時	最新値 (期待値)	10年後 目標値	
全体額	2,863	3,097 (3,006)	4,700	“みる”スポーツの需要拡大や観光需要の拡大により、期待値を上回っている。
施策1 (“みる”スポーツの拡大)	646	675 (678)	1,053	スタジアム観戦をはじめとしたスポーツ興行の需要拡大により上昇基調が続き、期待値並みに推移している。
施策2 (産業×スポーツの共創)	—	1.6 (2.2)	123	静岡SOIPを立ち上げるも、具体的な事業化・収益化フェーズには至らず、市場規模への寄与は未だ限定的なため、期待値を下回っている。
施策3 (県外からの誘客)	1,210	1,338 (1,270)	1,971	観光需要の拡大により、期待値を上回っている。
施策4 (地域スポーツの振興)	550	521 (577)	891	部活動の地域展開が過渡期であることなどから、関連費用の伸びが見られないため、期待値を下回っている。
施策5 (人材育成)	—	—	—	(市場が限定的であり算定困難)

期待値：年度ごとの達成水準（5%成長を乗じて設定）

2

EVALUATION RESULTS

評価結果～施策別KPI～

区 分	KPI	KPI数値			分析・評価
		R7策定時	最新値 (期待値)	10年後	
施策1 ("みる"スポーツ の拡大)	県内Jリーグ及びBリーグ売上	116億円	138億円 (124億円)	200億円	スポーツ興行の需要拡大に伴い売上が増加し、期待値を上回っている。
	SNSフォロワー数(県内18チーム)	106万人	121万人 (112万人)	170万人	プロスポーツチームのフォロワー・ファンの拡大に伴い、期待値を上回っている。
	観戦者数(県内有料試合対象)	102万人	129万人 (111万人)	200万人	観戦需要が拡大し、期待値を上回っている。
施策2 (産業×スポーツ の共創)	プラットフォーム(静岡SOIP)参画企業数	－	106社 (100社維持)	100社	共創事業への関心の高まりにより、期待値を上回っている。
	マッチング件数	－	17件 (50件)	累計500件	マッチングやビジネス化に至るまで時間を要しており、期待値を下回っている。
	新規スポーツビジネス取組企業数	－	6社 (10社)	累計100社	
施策3 (県外からの誘客)	スポーツ目的訪県比率	0.4%	0.2% (0.5%)	1.5%	観光・レジャー目的の拡大により、スポーツ目的が相対的に減少し、期待値を下回る。
	県内における大会・合宿開催件数	1,534件	精査中 (1,611)	2,500件	(集計中)
施策4 (地域スポーツ の振興)	公共及び民間スポーツ施設の指導者数	1,618人	1,896人 (1,699人)	2,636人	健康意識等の高まりによる民間スポーツ施設の指導者数が増加し、期待値を上回っている。
	スポーツ施設提供業の事業所数	407カ所	－ (427カ所)	663カ所	(調査対象期間外)
施策5 (人材育成)	アスリート等雇用に係る事業所登録数	40団体	40団体 (42団体)	65団体	アスリートや企業への啓発が効果発現に至らず、期待値を下回っている。

期待値：年度ごとの達成水準



MARKET SIZE — OVERALL

県内スポーツ市場規模評価

最新値

3,097 億円



期待値比 +91 億円

期待値

3,006 億円

R7策定時(対象：令和3年)

2,863 億円

10年後目標（令和17年度）

4,700 億円

※全国スポーツ市場規模：102,388億円

県内スポーツ市場規模（対象：令和4年）

算出方法

全国スポーツ市場規模(日本政策投資銀行算出)×県内事業所数比率
※日本政策投資銀行による令和4年（2022年）における「わが国スポーツ産業の経済規模推計」により算出

分析・評価

“みる”スポーツの需要拡大や観光需要の拡大により、市場規模は期待値を上回って推移。

チームの経営強化策が一定の効果を発揮し、ファンや関心層の増加により、チーム売上・SNSフォロワー・観戦者数が増加基調にある。旅行消費の増加など、観光需要の拡大が追い風となっている。

期待値：年度ごとの達成水準（5%成長を乗じて設定）

3

MARKET SIZE — BY POLICY

県内スポーツ市場規模評価



施策1 “みる”スポーツの拡大

R7 策定時（対象：R6）

646 億円



最新値（対象：R7）

675 億円

期待値 678億円
目標 1,053億円

算出方法

各項目の合計

- ①スタジアム観戦費用（ホーム試合×平均観客数×試合観戦費）
- ②プロチームその他収入（スポンサー収入、放映権、グッズ販売）
- ③スポーツ施設改修費＋施設売上高

分析・評価

スタジアム観戦費用、スポンサー収入をはじめとするプロチームその他収入の増加が寄与し、期待値並みに推移。
個別KPIであるチーム売上・SNSフォロワー数・観戦者数はいずれも前年を上回っていることから、プロスポーツチームの経営強化策が一定の効果を発揮しつつあると見られ、上昇基調にあると思われる。



施策2 産業×スポーツの共創事業

R7 策定時（対象：R6）

計測なし



最新値（対象：R7）

1.6 億円

期待値 2.2億円
目標 123億円

算出方法

新規事業及び共創事業における年間売上
（小規模事業者売上高の中央値×累計事業件数）

分析・評価

プラットフォーム（静岡SOIP）への参画企業数は、目標を大きく超えたが、具体的な事業化・収益化フェーズにある案件は限定的である。
今後の市場拡大が期待される一方で、マッチング件数・事業化案件を着実に創出し、取引額の拡大につなげる必要がある。

期待値：年度ごとの達成水準（5%成長を乗じて設定）

3

MARKET SIZE — BY POLICY

県内スポーツ市場規模評価



施策3 県外からの誘客

R7策定時（対象：R6）

1,210 億円



最新値（対象：R7）

1,338 億円

期待値 1,270億円
目標 1,971億円

算出方法

国内旅行者消費額（①②）及び海外旅行者消費額（③）の合計

- ①スポーツイベント参加者数×宿泊/日帰り者数×各旅行消費単価
- ②スポーツアクティビティ参加者数×宿泊/日帰り者数×各旅行消費単価
- ③外国人県内延べ宿泊者数×主な目的×各旅行消費単価×スポーツ関連率

分析・評価

国内、海外ともに観光需要全体の拡大を受け、市場規模は期待値を上回って推移。

ただし個別KPIであるスポーツ目的の訪県比率は、インバウンド需要の大半が観光・レジャーに集中しているため、低下傾向にある。

スポーツコンテンツの訴求力強化と合宿・大会誘致の加速が、数値向上に向けて重要となる。



施策4 地域スポーツの振興

R7策定時（対象：R6）

550 億円



最新値（対象：R7）

521 億円

期待値 577億円
目標 891億円

算出方法

地域スポーツの環境整備及びスポーツによるWell-Beingの向上

- ①中学部活地域展開人数×年間費用
- ②県民人口×スポーツ実施率×スポーツ関連費用

分析・評価

部活動の地域展開が過渡期にあることで関連費用が減少しているため、市場規模は期待値を下回って推移。

地域部活を含め、県民のスポーツ実施率の向上により、スポーツにかかる関連費用の引き上げが必要となる。

期待値：年度ごとの達成水準（5%成長を乗じて設定）



KPIの進捗評価～施策1：“みる”スポーツの拡大～

みるスポーツ

①県内J・Bリーグ売上

138億円



(期待値 124億円)

R7策定時: 116億円 10年後目標: 200億円

観客数の増加に伴い、売上は期待値を上回って推移。
入場料収入に加え、スポンサー収入・物販の伸びが寄与した。
全国的にもスポーツ興行が振興する中で、本県でも同様の動きが見られた。

参照：各チームの売上

②SNSフォロワー数 (県内18チーム)

121万人



(期待値 112万人)

R7策定時: 106万人 10年後目標: 170万人

ファン・関心層の増加により、県内のプロスポーツチームのフォロワー数は期待値を上回って推移。
情報発信量の増加とチームの露出拡大を背景に、ファン層が拡大している。

参照：各チームのSNSフォロワー数

③観戦者数（県内有料試合対象）

129万人



(期待値 111万人)

R7策定時: 102万人 10年後目標: 200万人

スポーツ興行の振興によるファン・関心層の拡大に伴い、観戦者数は期待値を上回って推移。
スポーツホスピタリティの浸透による多様な観戦価値の拡大や、ファン層の拡大により、今後も観戦者数増加が期待される。

参照：県内18チームホームゲーム観戦者数を集計



KPIの進捗評価～施策2：産業×スポーツの共創事業～

共創事業

①プラットフォーム (静岡SOIP) 参画企業数

106社



(期待値 100社維持)

R7策定時: 0 10年後目標: 100社 (累計)

令和7年度に設置したプラットフォーム（静岡SOIP）における参画企業数は、期待値を上回って推移。企業のスポーツ×他産業の共創への関心の高さが推測される。静岡SOIPを通じた共創事業の創出が期待される。

参照：スポーツ振興課調査

②マッチング件数

17件



(期待値 50件)

R7策定時: 0 10年後目標: 累計500件

静岡SOIP参画企業数は増加傾向だが、各企業の需要を結びつけるマッチングまでには至らず、期待値を下回って推移。企業間を繋ぐ交流イベントの精度向上や、他産業との共創に取り組む文化の醸成等が重要と思われる。

参照：スポーツ振興課調査

③新規スポーツビジネス 取組企業数

6社



(期待値 10社)

R7策定時: 0 10年後目標: 累計100社

静岡SOIPを通じた共創事業は、取り組み開始初年度。事業化及び収益化フェーズに到達するまでに時間を要しており、期待値を下回って推移。良質なマッチング件数の増加により、ビジネス化が促進される。

参照：スポーツ振興課調査

4

KPI PROGRESS — POLICY 3

KPIの進捗評価～施策3：県外からの誘客～

誘客

①スポーツ目的訪県比率

0.2%

(期待値 0.5%)



R7策定時: 0.4% 10年後目標: 1.5%

訪県全体に占める他目的（観光・レジャー等）の構成比が拡大したことで、相対的にスポーツ目的の割合が押し下げられたため、スポーツを目的に本県に訪れる者の割合は期待値を下回っている。

来訪目的	R5 (%)	R6 (%)	増減
観光・レジャー	73.6	80.4	+6.8
親族・知人訪問	10.0	6.1	△3.9
ビジネス	7.1	3.5	△3.6
インセンティブツアー(招待旅行)	1.3	3.6	+2.3
スポーツ・スポーツ観戦	0.4	0.2	△0.2

参照：観光庁「インバウンド消費動向調査」

②県内における大会・合宿開催件数

精査中

(期待値 1,611件)

R7策定時: 1,534件 10年後目標: 2,500件

県内の202施設におけるスポーツに関係する大会・合宿の開催実績について集計中。

今後は、一般社団法人化したスポーツコミッション shizuokaが、パブリックパートナーとなる市町等と連携した取組を展開し、持続的に案件を増やしていくことを期待。

参照：（一社）スポーツコミッションShizuoka調査



KPIの進捗評価～施策4・5：地域スポーツの振興と人材育成～

地域振興・人材育成

施策4 公共・民間スポーツ施設の指導者数

1,896人



(期待値 1,699人)

R7策定時: 1,618人 10年後目標: 2,636人

特に民間スポーツ施設において指導者数は増加しており、期待値を上回って推移。

日常的な健康管理やウェルネス目的の需要が広がり、指導者数の増加に影響していると考えられる。

参照：体育・スポーツ施設現状調査

施策4 スポーツ施設提供業の事業所数

—（調査周期外）

(期待値 427力所)

R7策定時: 407力所 10年後目標: 663力所

3～5年ごとの調査周期のため、今回は調査不可。

参照：経済センサスー活動調査

施策5 アスリート等雇用に係る事業所登録数

40団体

(期待値 42団体)

R7策定時: 40団体 10年後目標: 65団体

ジュニア世代のアスリートや企業への啓発活動も効果発現に至らず、登録数は横ばいであり期待値を下回って推移。

官民連携によるキャリア支援を構築し、周知を進めていく。

参照：静岡県アスリート等雇用支援における事業所一覧

主な課題と対応方針（施策1・2）



施策1 | “みる”スポーツの拡大

課題

全国的に見てもスポーツ興行は好調な分野と言えるが、この観戦需要の拡大を一過性にしないためにも、継続的なファン層拡大と地域消費への波及を確実なものにしていく。

対応方針

ファン層の定着・拡大のために、「“みる”スポーツ」への支援を継続する。こうした取組を通じて、プロスポーツチームが主体的に取り組めるアクションの選択肢を増やしていけるよう支援する。

具体的取組

- ・“みる”スポーツの拡大事業（観戦チケットの子どもへの販売）
- ・先端技術を活用した新たな観戦体験の提供（スタートアップ等の技術を活用した実証事業支援）



施策2 | 産業×スポーツの共創

課題

プラットフォーム（静岡SOIP）への企業参画の増など、産業×スポーツへの関心は高いものの、企業間の具体的な事業化・収益化に至るプロセスに時間を要している。

対応方針

静岡SOIPにおいて、参加企業数拡大の次のフェーズとして、企業間マッチング、事業化・収益化までの支援を強化し、民間主導のビジネス創出を後押しする。

具体的取組

- ・静岡SOIPによるマッチングイベント開催、イノベーション創出支援
- ・SHIP（イノベーション支援拠点）を活用した資金・ノウハウの提供

主な課題と対応方針（施策3、4、5）



施策3 | 県外からの誘客

課題

観光需要の拡大に伴い市場規模は拡大しているものの、スポーツを目的とした本県への誘客につなげる取組が不十分。大会・合宿・観戦と観光消費を一体化した魅力訴求の強化が必要。

対応方針

スポーツツーリズムや地域スポーツ環境の充実を通じて、持続的なスポーツ市場の形成を目指す。観戦・大会・合宿を地域内消費や宿泊に結び付け、収益事業化する。

具体的取組

- ・（一社）スポーツコミッションShizuokaの設立
- ・機動的な大会・合宿誘致、スポーツツーリズムのコンテンツ開発の促進



施策4 | 地域スポーツの振興

課題

部活動の地域展開を含めた、県民のスポーツ実施率の向上が課題。スポーツに取り組むことにより、関連消費を引き出すことも必要。

対応方針

誰もがスポーツに参加できる機会の確保・拡大。

具体的取組

- ・生涯スポーツ、レクリエーションとしてのスポーツの振興
- ・多様なスポーツ（マインドスポーツ、eスポーツ含む）の実施機会創出



施策5 | 人材育成

課題

スポーツ×ビジネスを担う人材の育成が課題。若手アスリートのデュアルキャリア等に対する意識改革が必要。

対応方針

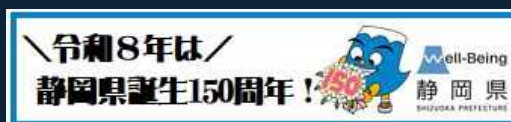
若手アスリートのキャリア形成に対する意識啓発を進め、将来のスポーツビジネスを担う人材の裾野を広げる。

具体的取組

- ・高校生向けアスリートのセカンドキャリア研修の実施
- ・スポーツキャリアサポートコンソーシアムや民間企業と連携したセカンドキャリアに対する意識改革の促進

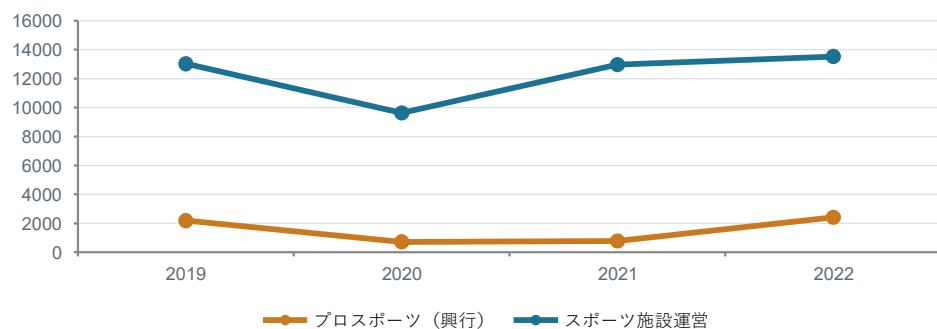
まとめ：今後の主な方向性

- 1 ファン層の定着・拡大に繋げるにより、プロスポーツチームが主体的に様々な取組を進められるよう“みる”スポーツを支援する。
- 2 静岡SOIPにおける企業間マッチング、事業化・収益化支援の取組を進める。
- 3 大会・合宿・観戦と観光消費を一体化した魅力訴求により、県外からの誘客を促進する。
- 4 県民のスポーツ参加機会を確保し、スポーツ実施率の向上を図る。
- 5 若手アスリートへの意識啓発により、将来のスポーツビジネスを担う人材の裾野を広げる。

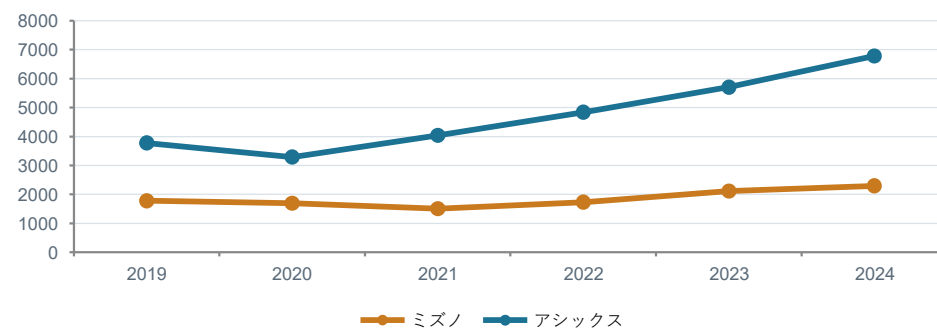


参考 スポーツ関連市場の動向

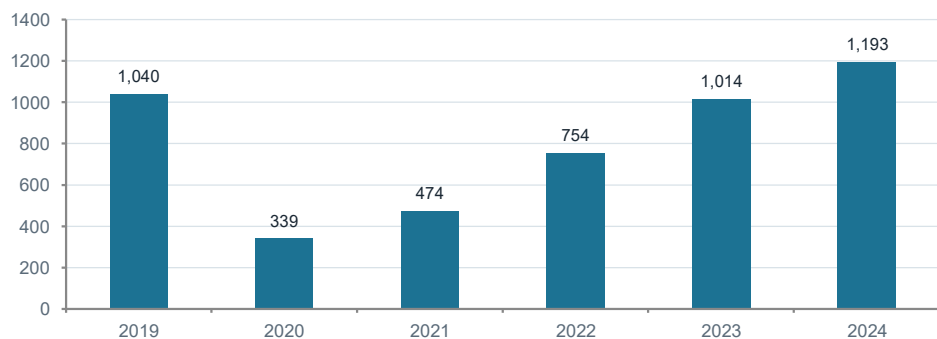
スポーツ産業 経済規模の推移（億円） 出典：日本政策投資銀行「わが国スポーツ産業の経済規模推計」



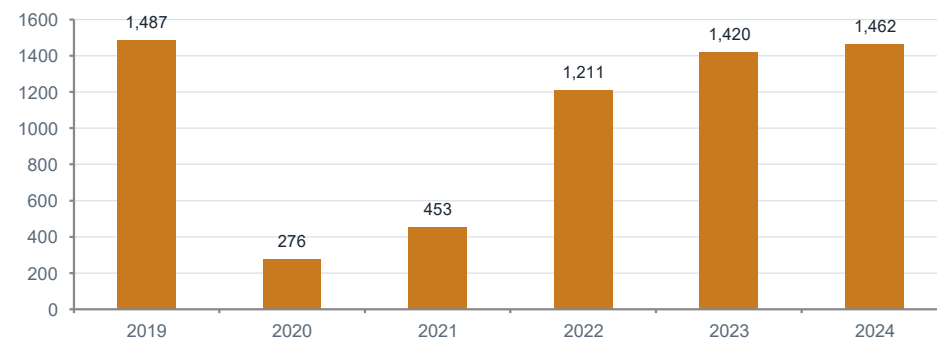
スポーツ用品大手2社 売上高推移（億円） 出典：各社決算短信



Jリーグ（J1+J2+J3）入場者数推移（万人） 出典：Jリーグ公式「観客動員実績統計」



プロ野球（セ・リーグ）入場者数推移（万人） 出典：NPB「公式戦観客動員数推移」



スポーツ関連市場の主要な上場企業は、近年は増収基調。健康志向の高まりやスポーツアパレルの需要の定着も業績を押し上げている。
また、Jリーグやプロ野球も2022年以降は、観客上限の撤廃などにより需要が拡大し、2024年には2019年（コロナ前）と同水準の入場者数に回復している。

R 8 年度当初予算（スポーツ関連）

13億3,786万円（R7:11億 7,021万円）

基本方針1 スポーツによる豊かで、幸せな暮らし・社会の実現

多様なスポーツの振興

6,875万円（R7:9,980万円）

<生涯スポーツの振興> 2,785万円（R7:2,770万円）

○日本スポーツマスターズ2027静岡大会の開催準備（新規）

- ・実行委員会の設立
- ・機運醸成イベントの開催 時期:10月（予定）

○生涯スポーツの拡大

- ・スポーツ・レクリエーション指導者等の市町派遣

○地域スポーツクラブの育成・支援

- ・総合型地域スポーツクラブの活動支援

<パラスポーツ振興> 4,090万円（R7:7,210万円）

○共生社会の実現に向けた連携促進

- ・ネットワーク型パラスポーツセンターの設置
時期：R8年5月
内容：ポータルサイト公開、人材育成 ほか
- ・パラスポーツ官民連携コンソーシアムの運営

○障害者のためのスポーツ実施機会の創出

- ・県障害者スポーツ大会「わかふじスポーツ大会」の開催

競技力の向上

11億1,044万円（R7:9億482万円）

<競技力向上対策> 2億9,940万円（R7:3億3,265万円）

○選手強化

- ・競技団体を通じた、国民スポーツ大会選手強化
- ・アスリート支援事業を他県並に見直し
支援上限額 120万円 ⇒ 80万円
- ・ジュニアアスリートの発掘・育成

○指導者確保・大会派遣支援

- ・2026国民スポーツ大会（青森県）等への選手派遣

○女性スポーツ活動の推進

- ・女性ユースダイレクターによる普及・育成・強化モデル構築

<パラアスリート支援> 3,240万円（R7:3,170万円）

○選手強化

- ・アスリート支援事業を他県並に見直し
支援上限額 120万円 ⇒ 80万円

○大会派遣支援

- ・全国大会等への選手派遣

<施設管理等> 7億7,864万円（R7:5億4,047万円）

○県立スポーツ施設の管理運営 ほか

R 8 年度当初予算（スポーツ関連）

基本方針 2 スポーツの魅力による地域活力の醸成

スポーツの成長産業化		9,784万円（R7:6,159万円）
＜しずおかスポーツ産業ビジョンの展開＞		9,784万円（R7:6,159万円）
【みるスポーツの拡大を通じた地域への好循環の創出】 ○ふるさと納税を活用したみるスポーツの拡大 ・プロチーム等と連携したスポーツ観戦機会の提供	【地域資源を活用した県外からの人の呼び込み】 ○スポーツツーリズムの拡大 ・ビーチ・マリン、モータースポーツ等地域資源の活用	
【県内産業とスポーツ分野の共創事業展開】 ○静岡SOPの本格運用によるビジネス創出 ・会員同士の交流促進や事業相談 ・スタートアップと県内スポーツ資源を結び付けるマッチングコーディネーターによる共創支援 ・スタートアップの持つ先端技術を県内のスポーツ資源を活用して実証するモデル事業	○eスポーツ普及・産業創出（新規） ・リアルスポーツをバーチャル空間で体験 ・TECH BEAT Shizuokaと連携した共創機会の創出	
	【スポーツを支える人材育成】 ○アスリートのセカンドキャリア支援 ・アドバイザー派遣による啓発活動・デュアルキャリア研修、アスリートを雇用する企業への支援	
スポーツによる交流拡大		6,083万円（R7:1億400万円）
＜交流人口拡大＞	4,460万円（R7:7,900万円）	＜大会レガシー継承＞
○スポーツコミッションShizuoka法人化 ・スポーツツーリズムの推進 ・経営基盤強化・自主事業化の推進		○オリ・パラレガシーの継承 ・ジャパン・マウンテンバイク・カップの開催
○スポーツによるまちづくり推進 ・市町が行うスポーツまちづくりの取組への支援		○ラグビーW杯レガシーの継承 ・ラグビー全国大会等のエコパへの誘致
○その他 ・第3次自転車活用推進計画推進計画の策定 ・富士山1周サイクルルートの活用促進		※2026アジア・アジアパラ競技大会の開催

日本スポーツマスターズ2027静岡大会の概要

区 分	内 容
概 要	・日本スポーツマスターズとは、(公財)日本スポーツ協会(以下「JSP0」)が所管する、スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会である。 ・平成13年(2001)から日本各地で開催され、本県では平成21年(2009)に開催され、今回2回目の開催となる。 ・JSP0から、令和9年(2027)本県開催について打診があり、高い経済効果が期待できることから、JSP0に開催申請書を提出し、令和7年(2025)6月4日に本県開催が決定した。
主 催	JSP0、静岡県、静岡県スポーツ協会
競 技 会	大会主催者に加え、各競技団体、競技会場市
大 会 運 営	実行委員会方式 (開催基準要項に基づき開催県及び県スポーツ協会が設置)
実 施 競 技	13 競技 (水泳、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、自転車競技、ソフトテニス、軟式野球、ソフトボール、バドミントン、空手道、ボウリング、ゴルフ)
会 期	・開会式：2027年9月17日(金) ・本会期：2027年9月18日(土)～21日(火) ・会期前：2競技を実施 ①水 泳：2027年8月28日(土)～29日(日) ②ゴルフ：2027年9月7日(火)～9日(木)
実施場所(案)	県内11市32会場を予定
参 加 資 格	日本在住者で原則35歳以上の者(競技ごとに定める)
参 加 者 数	約8,000人(選手、監督等)
そ の 他	・大会期間中に高円宮妃殿下によるお成りを想定(開会式(前夜祭)、競技御観) ・2012年からJSP0が開催県スポーツ協会に委託する形で韓国選手団を大会に参加させる交流事業が開始され、2027静岡大会においても韓国選手団が参加予定

競技会場・日程（案）

＜開会式（前夜祭）＞

期日：2027年9月17日（金）

場所：ホテルグランヒルズ静岡（静岡市）

競 技 名		競 技 日 程									競 技 会 場	開催地
		8 月		9 月								
		28	29	7	8	9	18	19	20	21		
		(土)	(日)	火	水	木	(土)	(日)	(月)	火		
水 泳	(男女)	○	○				○	○	○		静岡県富士水泳場	富士市
サッカー	(男)						○	○	○	○	エコパスタジアム	袋井市
							○	○	○	○	エコパ補助競技場	
							○	○	○		磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場	磐田市
							○	○	○		サッカー・多目的グラウンド	
テ ニ ス	(男女)						○	○	○	○	浜松新電力テニスコート	浜松市
バレーボール	(男女)									○	エコパアリーナ	袋井市
	(男)						○	○	○		エコパアリーナ	
							○	○	○		エコパサブアリーナ	
								○			さわやかアリーナ メインアリーナ	
							○	○			さわやかアリーナ サブアリーナ	
	(女)						○				さわやかアリーナ メインアリーナ	
							○	○	○		サーラグリーンアリーナ メインアリーナ	浜松市
							○	○	○		サーラグリーンアリーナ サブアリーナ	
	バスケットボール	(男)						○				磐田市アミューズ豊田 メインアリーナ
							○	○	○	○	静岡県草薙総合運動場体育館 このはなアリーナ	静岡市
							○	○			静岡県草薙総合運動場体育館 サブフロア	
(女)							○	○	○		静岡市中央体育館	
							○	○	○	○	香陵アリーナ スポーツアリーナ	沼津市
					○	○			香陵アリーナ 多目的アリーナ			
自転車競技	トラック	(男女)					○	○	○		日本サイクルスポーツセンター ペドロローム	伊豆市
ソフトテニス	(男女)						○	○			静岡県草薙総合運動場庭球場	静岡市
軟式野球	(男)						○	○	○		静岡県草薙総合運動公園硬式野球場	静岡市
							○	○			静岡市西ヶ谷総合運動場野球場	
							○	○			ちゅ〜るスタジアム清水	
							○	○			島田球場	島田市
							○				焼津市総合グラウンド野球場	焼津市
ソフトボール	(男)						○	○	○	○	富士川緑地公園ソフトボール場	富士市
バドミントン	(男女)						○	○	○		北里アリーナ富士	富士市
空 手 道	(男女)						○	○	○		静岡県武道館	藤枝市
ボウリング	(男女)						○	○	○		浜松毎日ボウル	浜松市
ゴ ル フ	(男)			○	○	○					朝霧ジャンボリーゴルフクラブ	富士宮市
	(女)			○	○	○					朝霧カントリークラブ	

生涯・パラスポーツの主な取組

静岡県スポーツ推進計画に掲げる次の基本方針１「スポーツによる豊かで、幸せな暮らし・社会の実現に基づいた取組」を行っています。

１ 県民スポーツ・レクリエーション祭

主 催	県、静岡県レクリエーション協会			
主 管	県民スポーツ・レクリエーション祭実行委員会			
目 的	誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツにふれあう場を提供することにより、スポーツ人口の拡大を図り、健康・体力づくりを推進する。			
内 容	区分	期日	場所	内容
	種目別大会	４月～１２月	県内市町	バウンドテニス、ウォークラリーなど種目別大会(32 種目)
	ニュースポーツ ふれあいフェスタ	５月 16 日（土）	牧之原市	10 種目程度の ニュースポーツ体験
		５月 23 日（土）	三島市	
		５月 31 日（日）	袋井市	
		６月 14 日（日）	函南町	
		９月 27 日（日）	御前崎市	
		10 月 3 日（土）	小山町	
		11 月 8 日（日）	松崎町	

２ しずおかスポーツフェスティバル

主 催	県、（公財）静岡県スポーツ協会	
主 管	しずおかスポーツフェスティバル県実行委員会、地域実行委員会	
目 的	明るく心豊かな生活の実現に向け、多くの県民がスポーツの祭典に集い親睦と交流を深めつつ地域の活性化を図る。	
概 要	期 間	令和 8 年 5 月～12 月（冬季種目は 1 月まで）
	場 所	県内市町
	種 目	サッカー、テニス、バレーボールなど 130 種目（予定）

3 スポーツ・レクリエーション推進事業

実施方法	静岡県レクリエーション協会へ委託			
目 的	市町、関係団体の行う取組を支援し、全県展開を推進するため、取組を支援し、スポーツ・レクリエーションを通じた生涯スポーツの全県展開を推進する。			
内 容	区分	期日	場所	内容
	市町等支援			
	指導者の派遣	4月以降	体育館、企業、高齢者施設など	市町等が実施するイベントへ指導者を派遣
	講師の派遣	4月以降	県内	市町スポーツ推進委員会等の研修会等に講師を派遣
	プロスポーツチームと連携した取組（PR）	随時	県内プロスポーツチームの試合会場	試合会場にニューススポーツの体験ブース等を設置

4 総合型地域スポーツクラブ活動支援

体 制	（公財）静岡県スポーツ協会へ委託
目 的	県民のスポーツ参画人口拡大のため、様々なスポーツ機会の充実に向けて、地域のスポーツの拠点となる総合型地域スポーツクラブの育成・支援を実施する。
内 容	市町クラブ担当者研修会、地域スポーツクラブマネジメントセミナー 地域スポーツクラブ交流会、アシスタントマネージャー養成講座

5 スポーツ・レクリエーションを通じたWell-Beingの向上

実施方法	県直営
目 的	仕事や家事が忙しい人も気軽に取り組めるスポーツ・レクリエーションの運動効果等の科学的データを示し、スポーツ実施率の向上につなげていく
概 要	大学研究者等に意見を伺い、スポーツ・レクリエーションの実施データ測定や効果検証の方法の検討を行う。

6 静岡県スポーツ推進月間（毎年10月）

体 制	（公財）静岡県スポーツ協会へ委託
目 的	スポーツ庁が、毎年10月を「体力づくり強化月間」と定めていることに合わせ、本県も10月を「静岡県スポーツ推進月間」とし、スポーツに親しむ期間として啓発し、県民がスポーツに親しむ機運を高める。
内 容	推進月間イベント、広報活動（のぼり旗の掲出、イベント情報の発信など）

7 県障害者スポーツ大会「わかふじスポーツ大会」

主 催	県、静岡市、浜松市、（公財）静岡県障害者スポーツ協会、（福）静岡県身体障害者福祉会、静岡県知的障害者福祉協会、静岡県手をつなぐ育成会、（特）静岡県作業所連合会・わ、静岡県精神保健福祉協会、（公社）静岡県精神保健福祉会連合会
目 的	障害のある人の自立と社会参加を促進する。
期 間	令和8年9月21日（月祝）～令和9年2月23日（火祝）（予定）
場 所	草薙総合運動場陸上競技場ほか
種 目	陸上競技、卓球、フライングディスク、ボッチャなど16競技

8 ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム

設 立	令和5年8月30日	
事 業	会員事業支援	会員のパラスポーツ事業の情報発信サポート
	会員の交流、マッチング促進	会員交流会の開催、会員同士のマッチング促進
	普及・広報活動	パラスポーツの取組の普及や情報発信
会員数	364名・団体（個人：216名、団体：148団体） R8.4.1現在	

9 ネットワーク型障害者スポーツセンター

内 容	・静岡県における障害者スポーツセンターは、新たな施設を整備するのではなく、障害のある人が身近な地域で活動できるよう、パラスポーツ利用実績がある県・市町・民間のスポーツ施設情報を一元化し、各施設の対応状況やノウハウを集約・共有する施設ネットワークを構築する。 ＜事務局＞ 場所：県総合社会福祉会館1階（静岡市葵区駿府町） ＜事務局機能＞	
	情報拠点	- 施設情報を一元化したポータルサイトの公開 - 地域連携会議の開催
	人材育成	- スポーツ施設職員等向け障害者対応研修の開催 - 専門人材の育成
	地域活動支援	構成施設のパラスポーツ事業支援（教室開催支援、指導員派遣、用具貸与など）

ネットワーク型パラスポーツセンターの設置

(スポーツ振興課)

1 要 旨

障害のある人が身近な地域でパラスポーツに親しむ環境を整備するため、本年５月、県総合社会福祉会館に「静岡県ネットワーク型パラスポーツセンター」を設置した。

2 ネットワーク型パラスポーツセンターの概要

- ・パラスポーツ実施実績のある既存のスポーツ施設情報を一元化し、各施設の対応状況やノウハウを集約・共有する施設ネットワークを構築する。
- ・県障害者スポーツ協会内にセンター事務局を設置し、パラスポーツ受入れ環境の全県水準向上に係る取組を実施する。

<センター事務局概要と各機能>

区 分		内 容
事務局		○Ｒ８年５月２５日開設 ・場 所：県総合社会福祉会館１階（静岡市葵区駿府町） ・体 制：センター長を配置して運営
機 能	情報拠点	○施設情報を一元化したポータルサイトの公開 ・Ｒ８年３月中旬公開 ・公開時の掲載施設数：９７施設 ・掲載情報 - 施設種別、障害者優先・減免の有無、予約方法、競技情報、利用可能な種目、指導員の配置、バリアフリー対応、教室開催情報等 ○地域連携会議の開催 ・参加者：市町、施設管理者、競技団体等 ・回 数：３回/年（東・中・西各１回）  【スマホ版サイトイメージ】
	人材育成	○スポーツ施設職員等向け障害者対応研修の開催 ・回 数：５回/年 ○専門人材の育成 ・競技団体指導者育成：理学療法士派遣（１５回/年） ・パラスポーツ指導員育成：スキルアップ講習会開催（５回/年）
	地 域 活動支援	○構成施設のパラスポーツ事業支援 ・教室開催支援：６回/年 ・指導員派遣：３５回/年 ・用具貸与：通年対応

競技力向上対策事業

1 概要

アスリート及び競技団体の強化・育成活動を支援し、県ゆかりの選手の活躍により県民のスポーツへの関心を高め、スポーツ文化の醸成を図る。

2 事業費

区 分	内 容
選手強化	・国スポ及び国スポブロック予選を勝ち抜くため、強化合宿・県外遠征等を行い、競技力の一層の向上を図る。 ・対象 41 競技団体 ・強化合宿 123 回、県外遠征 189 回、日帰り練習 601 回 ・競技用具整備補助 6 競技（※R7 実績）
ジュニア強化支援	・3方式の強化システムにより各競技団体が実施するジュニア世代を対象にした強化活動を支援する。 ・対象 40 競技団体 ・トレーニングセンター方式 27 競技、強化拠点方式 13 競技、指定校・指定クラブ方式 1 競技（※R7 実績）
優秀指導者確保・養成	外部から実績ある優れた指導者を招聘し強化活動の充実を図る競技団体に、事業の実施を支援する。 ・15 競技団体 18 名
上級指導者確保・養成	・本県の競技力を高いレベルで維持・向上させていくため、長期的に活躍できる若手優秀指導者の養成を図る。 ・11 競技団体 32 人
ジュニアアスリート指導者資質向上	・「ジュニア期における選手育成体制強化のための指導者育成」、「スポーツの導入期にあたる幼児期から児童期における子どもの個性に応じた運動指導を行う指導人材の養成」のための研修等を実施する。 ・オンライン（Zoom）開催 全6回（※R7 実績）
国民スポーツ大会等派遣	・選手の派遣負担金 等
静岡ゴールデンサッカーアカデミー	・海外チームを招聘した選手権と指導者研修会の開催 ・令和8年10月9日（金）～12日（月） 【参加チーム】フェイエノールト、水原三星、TeamFFF（静岡県代表 U-15）、TeamSSS（静岡県代表 U-15）
女性スポーツ活動推進モデル	・ユースダイレクター設置、ガールズフェスの開催（10月4日（日）） ・JFAアカデミーとの交流
スポーツ食育プロジェクト	R7 で終了

アスリート医・科学サポート【年次】	女性アスリート研修開催 医・科学支援研修 ほか
アスリート支援	・本県ゆかりのアスリートが実施する強化活動を支援し、国際・全国レベルのアスリートを育成するとともに本県選手の競技力向上を図る。 ・18 競技団体 45 人
ジュニアアスリート発掘・育成	・マイナー競技の体験教室の開催 ・チャレンジスポーツ教室 5 回、ビクトリークリニック 7 回（※R7 実績）
ドリカムスタート	・トップアスリート等によるクリニック（技術指導等） ・15 回（R7 実績）

3 スポーツ推進計画関連指標

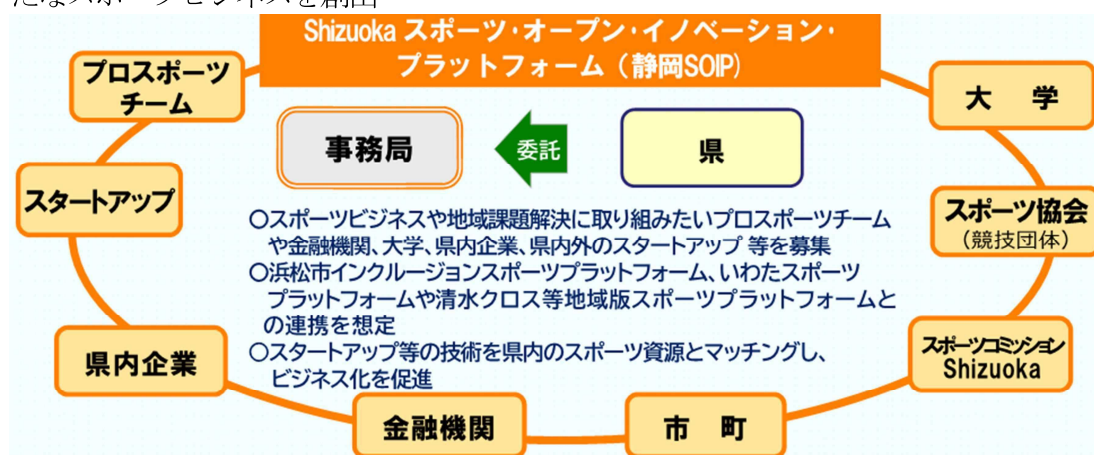
競技団体への強化支援、ジュニア世代の育成、指導者の確保・養成、アスリート支援等を総合的に実施することで、競技力の向上と持続的な競技環境の充実を図り、世界選手権入賞者の輩出、国民スポーツ大会出場種目数の拡大及び日本スポーツ協会登録コーチ 3、4 の指導者数の増加に寄与することが期待される。

指標		現況(2025 年度)	目標(2028 年度)
成果指標	トップアスリート支援及びパラアスリート支援対象選手の世界選手権入賞者数	24 人	累計 60 人
	国民スポーツ大会出場種目数	218 種目	毎年度 231 種目
	日本スポーツ協会登録コーチ 3 及び 4 の指導者数	1,313 人	累計 1,450 人

静岡 SOIP によるビジネス創出

1 概要

- ・ 県内産業とスポーツ分野の共創事業を創出するための仕掛けとして、スポーツに関係する多くの主体が集う、プラットフォーム（静岡 SOIP）を構築（R7.7～）
- ・ 会員数は、110者（R8.6 末時点）
- ・ プラットフォームを核としてオープンイノベーション（共創事業）の創出を促進
- ・ 県内のスポーツ資源（スポーツチーム・スポーツ施設等）とスタートアップを結び付け、新たなスポーツビジネスを創出



2 静岡 SOIP の役割

区 分	内 容
マッチング 機会の創出	スポーツ×他産業の出会いのきっかけづくり ①交流会（ピッチイベント等）を通じたマッチング、実証支援 ②先行事例や共創事業の進め方についての勉強会やセミナーの開催 ③静岡 SOIP の会員を中心とした情報交換会（懇親会）の開催
事業創出の 相談対応	イノベーション拠点 SHIP を活用した相談支援 ①実証フィールドの選定（スポーツチーム、関連企業・団体、大学等へのつなぎ） ②事業戦略の磨き上げ（SHIP 相談員による支援等） ③資金調達に関する相談（経済産業部事業へのつなぎ）
会員向け 情報発信	・情報交換会やセミナー、ピッチイベントの予告 ・成長産業化関連、スタートアップ支援関連事業の実施状況等

3 スポーツ推進計画関連指標

静岡 SOIP による活動が、多様な主体の連携と共創事業の創出を通じて、県内スポーツ産業の競争力強化と新たなビジネス機会を拡大し、市場規模の成長に寄与することが期待される。

指標		現況(2024 年度)	目標 (2028 年度)
成果指標	静岡県内のスポーツ市場規模	2,863 億円	3,480 億円

R7 静岡 SOIP イベントの開催結果

1 概 要

令和7年度は、機運醸成を目的とした、大規模な参加促進イベント及び地域のイノベーション拠点と協力した小規模の交流イベントを開催し、マッチングの機会を提供した。

2 内 容

(1) 参加促進イベント

区 分	内 容	
目 的	スポーツ×他産業による共創に対する機運醸成、マッチング機会の提供	
イベント名	静岡 SOIP presents SHIZUOKA SPORTS INNOVATION LEAGUE	
日時・場所	令和7年12月11日（木）15:00-19:15 @クーポール会館	
開催結果	参加者	97名 (静岡ブルーレヴズ、ベルテックス静岡、東レアローズ静岡、ブレス浜松、ハヤテ223(株)、(株)藤枝MYFC、東京海上日動火災保険(株)、SBSプロモーション、他)
	マッ チ ン グ	ピッチ実施4社に対し、参加企業29社がマッチング希望あり。 うち、2件が共創事業に向けて相談中。

(2) 地域交流イベント

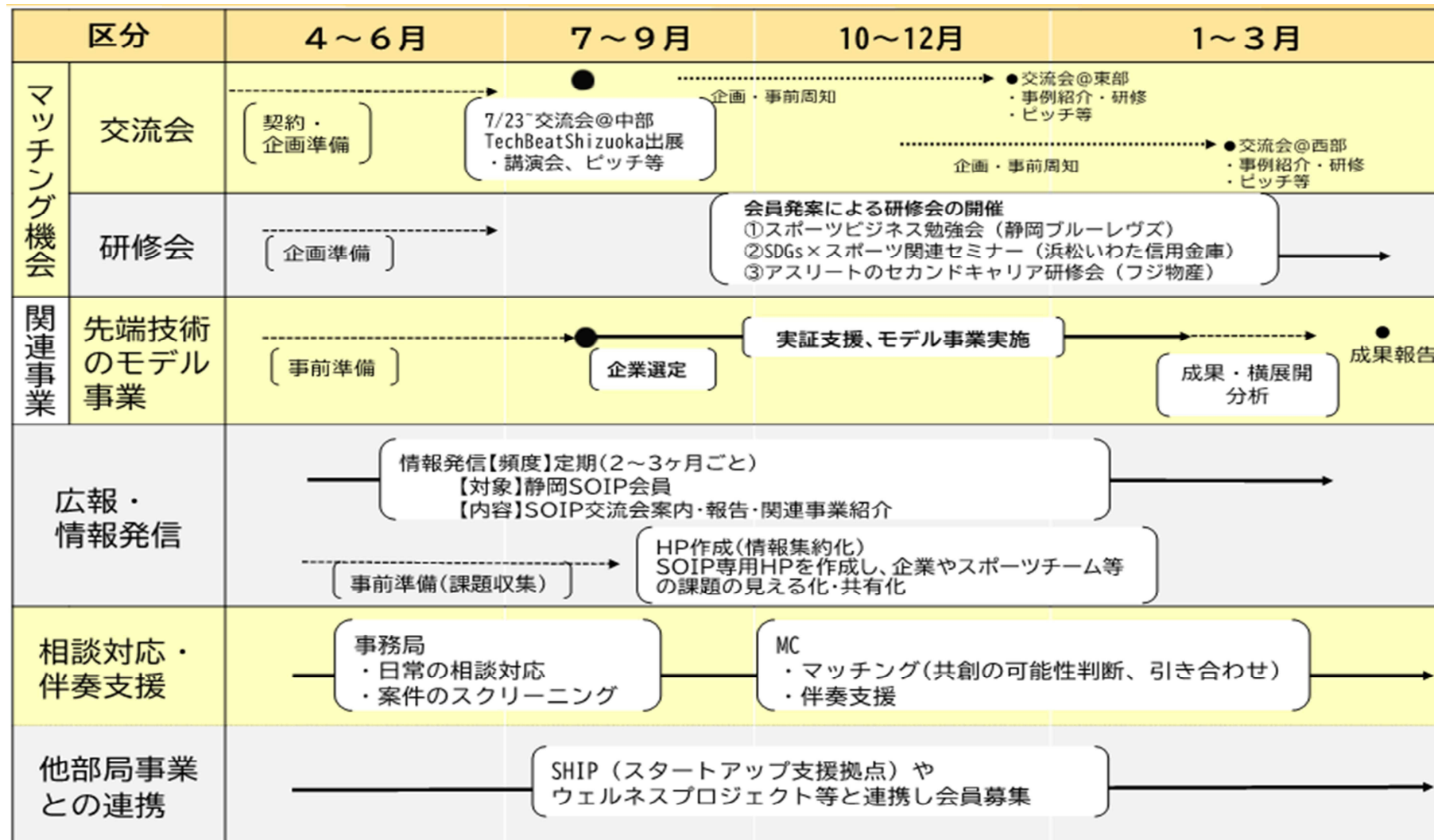
日時・場所	内 容	
<西部> 1/28(水) 18:00-20:30 (会場:FUSE) 共催:浜松いわた信用金庫 参加:38名	【タイトル】Hamamatsu Sports Business Academy supported by 静岡 SOIP	
	①基調講演	テーマ:トップレベルから地域まで繋ぐ人材育成と指導論 登壇者:風間 八宏 氏(南葛 SC 監督)
	②ワーク ショップ	テーマ:スポーツ×SDGs 協 力:事業構想大学院大学
	③告知	FUSE、事業構想大学院大学、浜松市、県
	④交流会	
<東部> 2/24(火) 18:00-20:30 (会場:ぬましんCOMPASS NUMAZU) 参加:40者程度	【タイトル】Sports Meetup Night in 沼津	
	①ピッチ	登壇者:東レアローズ静岡、(株)Otono 等
	②トーク セッション	ピッチ登壇者による共創の成果・課題など
	③告知	スポーツチーム、ぬましんCOMPASS、県
	④交流会	
<中部> 3/19(木) 18:00-20:30 (会場:清水クロス) 共催:清水クロス 募集:40者程度	【タイトル】Sports Meetup Night in 清水	
	①基調講演	スポーツビジネスの解像度を上げる～なぜスタジアムやアリーナに共創がかかせないのか?～
	②トーク セッション	外からは知りにくいリアルを知る。～チーム・施設開発・地域の3つの視座から見るスタジアム・アリーナ～
	③報告会	先端技術を活用した実証モデル事業成果報告会 (株)GATARI×東レアローズ静岡、(株)Nu.×静岡ブルーレヴズ
	④交流会	

R 8 静岡 SOIP の取組状況

1 概要

- ・ R 7 のマッチング成果等を具体的な共創事業の創出につなげることを中心に交流会の開催や、モデル事業実証支援に取り組む。
- ・ 静岡 SOIP の自走化に向けて、会員発案による研修会を開催する等メインプレイヤーとなる会員の発掘をしていく。

2 内容



“みる” スポーツの拡大事業

1 概要

- 令和7年7月に策定した「しずおかスポーツ産業ビジョン」に基づき、“みる” スポーツの拡大を起爆剤とし、その効果を地域スポーツ振興に波及させる好循環の創出を目指す。
- その具現化施策として、こども対象の特典付き観戦チケットを複数造成し、“みる” スポーツの機会を確保する。

2 事業内容

区 分	内 容	
観戦機会の提供	○複数競技を横断した特典付き観戦チケットの造成及び販売 実施方法：民間事業者への委託により実施 対 象 者：18歳未満の県民(子ども) 対象期間：令和8年8月から2月まで 販 売 数：5,000セット 購入方法：専用サイトから購入 造 成 例：	
	区 分	対象試合
	チケットA	ジュビロ磐田×静岡ジェード
	チケットB	ベルテックス静岡×東レアローズ
	チケットC	静岡ブルーレヴズ×ハヤテベンチャーズ
○集客広報 (1)特設サイトの開設 ルール説明動画、選手メッセージ動画掲載 (2)キャラバン隊の派遣 各地域の学校に選手等を派遣 (3)広報チャンネルでの発信 みなスポやSNSでの情報発信		

3 スポーツ推進計画関連指標

子どもがプロチームの試合を観戦・体験することで、一人のファンになってもらう。これにより、プロチームの観客数が増加し、スポーツチームの収益増加(市場規模の拡大)につながる。得られた収益は地域にも還元され、様々分野からスポーツ市場規模の拡大に寄与すると期待される。

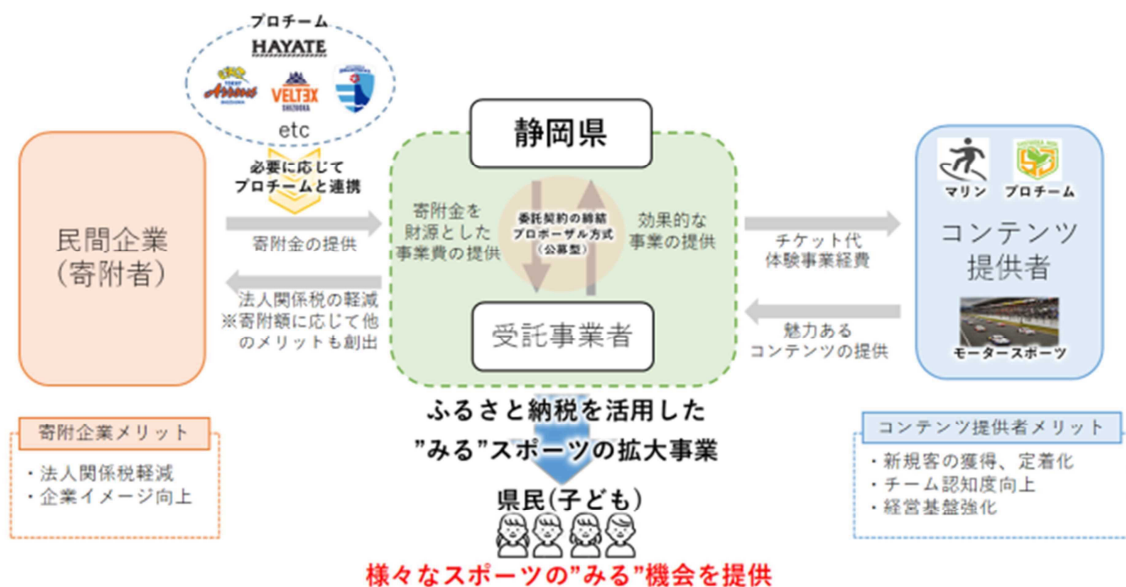
指標		現況(2024年度)	目標(2028年度)
成果指標	静岡県内のスポーツ市場規模	2,863億円	3,480億円

< 参考資料 >

1 受託事業者

株式会社SBSプロモーション（静岡市駿河区森下町1-35）

2 事業イメージ図



3 県民（子ども）のスポーツ観戦率

子どもの直接スポーツ観戦率が減少傾向

区分	平成22年	平成27年	令和元年	令和5年
スポーツ観戦率 (12～21歳)	46.1%	42.4%	37.2%	29.6%

（笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」より）

4 展望

年度	区 分	あり方	主な取組・効果
R8-9	観戦機会の提供・拡大	県民のスポーツ観戦機会を幅広く創出	- プロチームや国際大会等と連携したスポーツ観戦勧奨事業 - 特典付き観戦等により初観戦の壁を軽減
R10-11	新規観戦者層の定着	新規観戦者が継続的に観戦する機会を創出	- ホスピタリティによる観戦価値向上 - 食や観光と連携した広域政策の実施 - 静岡SOIPによる取組の共有（横展開）
R12～	地域スポーツへの波及	- 観戦者数の増加によるスポーツチームの経営力強化 - スポーツチームによる地域スポーツ振興事業が拡大	- スポーツチームによる地域部活の運営 - チーム組織拡大による雇用創出 - その他地域貢献活動の実施 - 静岡SOIPによる取組の共有（横展開）



静岡県 スポーツ振興課

子どもたちにはじめての 応援体験を。

SOCCER
BASKETBALL
RUGBY
TABLE TENNIS
VOLLEYBALL
BASEBALL
RACING
CYCLING



©SHIZUOKA BlueRevs

／ 応援デビュー ／

みるスポ

異なる競技の試合を2試合観戦して、オリジナル応援フラッグをゲット! さらに、それぞれのチームならではの「みるスポ」オリジナルプログラムに参加して、スポーツ観戦をもっと楽しもう!

2026年7月-2027年3月



会場: 静岡県内各スタジアム・アリーナ

チケットのお申込みはコチラ! <https://miruspo.jp>

オリジナル
応援フラッグ
もらえる!



PROGRAM

「みるスポ」体験プログラム



ブレス浜松

①選手とハイタッチ体験



静岡ブルーレヴズ

①ピッチ体験(抽選50名)



静岡SSUポニータ

①選手との交流
(エンジョイサッカー)



ジュビロ磐田

①レジェンドスタジアムDJ
杉山直が案内する
スタジアムツアー(抽選20名)



アザレアセブン

①公開練習見学&体験会・交流会



藤枝MYFC

①ピッチに立てる! 散水体験!
(アップ前・抽選10名)



富士山静岡レーシング

①ピット見学
②コースバス走行
③コース見学



静岡ジェード

①エスコートキッズ(抽選10名)
②試合前に選手と手合わせ(抽選10名)
③グッズがあたる抽選会!



ベルテックス静岡

①試合後コートで写真撮影(限定20名)
②試合後ベルティと写真撮影(限定20名)
③選手入場時ハイタッチ(限定15名)
※対象試合有り



清水エスパルス

①グッズがあたる抽選会!



シャンソンVマジック

①選手とハイタッチ体験
(限定20名)
②マシタンと写真撮影
(限定20名)
③選手のサイングッズ抽選会



ハヤテベンチャーズ

①始球式(9/6のみ)(限定3名)
②スタメンキッズ(9/6のみ)(限定21名)
③選手交流サイン会(8/26・9/26)
(限定15名)
④選手と写真撮影(限定50名)



レバンテフジ静岡

①静岡競輪場でのバンク自転車
走行体験
②選手のデモ見学



アスルクラロ沼津

①ハーフタイム芝生養生体験
(抽選10名)
②選手入場時旗振り



東アローズ静岡

①バレーボールコート体験

※体験プログラムは予告なく変更になる可能性があります。

FLOW

チケット購入～当日の流れ

STEP.1



チケットを購入

チケット購入ページで、購入
するチケットの確認・枚数・お
支払情報を入力してチケット
を購入してください。

STEP.2



二次元コード発行

購入完了メールもしくはマイ
ページより購入したチケット
の専用二次元コードがご確認
いただけます。

STEP.3



入場チケット引換え

発行した二次元コードを当日
会場の、みるスポ特設ブース
でご提示ください。その場で、
正式な紙チケットをお渡しし
ます。

STEP.4



試合を観戦!

購入した二次元コードチケットが LINEで受け取れます

teketのLINEアカウントを友だち登録するとチケットの受取がもっとラクに!

チケットの販売は、電子チケット販売・管理サービス「teket」に行います。

試合日が近づくと通知をしてくれる
お知らせ機能付き!



お問い合わせ

みるスポ運営事務局(株式会社SBSプロモーション) MAIL: miruspo@miruspo.jp

受付時間: 平日9:00~17:00 本事業は静岡県スポーツ振興課が実施する「みるスポーツ拡大事業」です。

e スポーツ未来共創事業

1 概要

県民の遊び・娯楽指標の改善及びウェルビーイング向上のため、民間（競技団体や関連企業）が進めるeスポーツの競技普及、裾野拡大を支援する。また、民間企業が主体の事業実施を目指すため、市場規模の拡大が見込まれるeスポーツ関連ビジネスに対する県内企業の参入を促進する。

2 事業内容

区 分	内 容
競技普及 裾野拡大	県民に親しみのあるリアルスポーツを バーチャル空間で体験 ○サッカー、野球、自転車等をバーチャル空間で体験 ・ 時期：令和9年1月 ・ 内容：eスポーツ体験会（複数種目） 興味関心の高いリアルスポーツから選定 ・ 実施主体：民間（競技団体、関連企業）、 →県は民間の取組を一部支援
	県民に親しみのあるリアルスポーツを バーチャル空間で体験 ○モータースポーツをバーチャル空間で体験 ・ 時期：令和8年10月10日（土）、11日（日） リアルレースと同時開催 ・ 内容：プロリーグと連携したeスポーツ体験会 ・ 場所：富士スピードウェイ ・ 委託先：遠州浜松モータース
関連産業の 創出	○テックビートShizuoka出展（7月23日～25日） ・ eスポーツをテーマとした出展エリア ・ リアルとeスポーツを融合させた集客コンテンツの実施

3 スポーツ推進計画関連指標

若年層やデジタルネイティブを中心に人気が高いeスポーツの新たな顧客層の獲得により、スポーツ人口が拡大する。また、eスポーツ大会の配信、バーチャルグッズ販売、デジタルプラットフォームでの収益化など、従来のスポーツにはなかった新たな収益機会が生まれ、スポーツの市場規模拡大に寄与することが期待される。

指標		現況(2024年度)	目標(2028年度)
成果指標	静岡県内のスポーツ市場規模	2,863億円	3,480億円

デュアルキャリア支援・スポーツビジネス人材育成

1 概要

アスリートの能力を引退後にスポーツビジネスへ生かすため、デュアルキャリア支援をはじめとするキャリア支援により、スポーツの成長産業化を支える人材として育成する。

(単位：千円)

区 分	内 容	R 7	R 8
デュアルキャリア ^{※1} 支援	アドバイザー派遣による啓発活動・研修	500	500
アスリート等雇用支援	アスリート等を雇用した企業への支援金	18,500	18,500
計		19,000	19,000

※1 アスリートが「アスリートとしてのキャリア」と「人としてのキャリア」の両立を考え、競技を続ける現役中から将来を見据えた準備をすること。

<スポーツ推進計画関連指標>

デュアルキャリア研修は、アスリートが競技を通じて培った能力を社会やビジネスの中で活かすための人材育成である。

アスリートが競技以外の分野でも活躍することで、様々な産業との接点生まれ、スポーツを起点とした新しいサービスや事業が生まれ、スポーツの価値が社会に広がることでスポーツ産業そのものの基盤強化にもつながる。

「アスリートの人生設計支援」であると同時に、「スポーツ産業を支える人材への投資」という意味で、スポーツの成長産業化にも寄与すると考えられる。

指標		現況(2024 年度)	目標 (2028 年度)
成果指標	静岡県内のスポーツ市場規模	2,863 億円	3,480 億円

2 デュアルキャリア支援事業【デュアルキャリア研修】

アスリートに社会人として活躍するキャリアビジョンを描く機会を提供し、県のスポーツの成長産業化を担う人材を育成するため、県内トップアスリートへデュアルキャリア研修を実施する。

(1) R 7 年度実績

区 分	内 容			
目 的	・ 競技生活を通し育まれる社会的能力を認知させ、その能力が引退後の将来において強みとなることを伝える。 ・ 県のスポーツの成長産業化を支える人材として育成する。			
日時(案)	1 回目	12月11日(木) 10時～（1 時間）	2 回目	12月16日(火) 10時～（1 時間）
実施事業者	スポーツキャリアサポートコンソーシアム(SCSC)		フジ物産株式会社	
対 象 者	日本大学三島高等学校 アスリートコース 1 年生 63名（約30名×2 クラス）			
講 師	ACC 資格保有者			

(2) R 8 年度予定

区 分	内 容	
R 7 からの 変更点	・県ゆかりの元アスリートに登壇者に招く。 ・受講者自身が、県で活躍する元アスリートの事例を調査。	
対 象	陸上競技県内トップレベルの高校 1 年生	藤枝明誠高等学校 アクティブ AS コース※ ² 1 年生及び 2 年生
日 時	令和 9 年 1 月 9 日 (土) 及び 1 月 10 日 (日)	令和 8 年 10 月又は 11 月
競 技	陸上競技	サッカー、陸上、野球、バスケ、テニス等
実施方法	・出前型式 ・県内トップアスリート合宿の休憩時間で実施	・出前型形式 ・授業内に学校で実施する
講 師	アスリートキャリアコーディネーター (ACC) 資格保有者	同左

※² 学習と諸活動を高いレベルで両立させ、4 年制大学合格を目指すコース。

(3) 有識者(研修に関するアドバイザー)

所 属	氏 名	内 容
(公財)静岡県スポーツ協会	武田専務理事、佐々木氏	県内各競技団体の選手に対する研修について
フジ物産(株)	福井部長、山本氏、大澤氏	全体的な研修実施方法について

(4) スケジュール

四半期	第 1 (4～6 月)	第 2 (7～9 月)	第 3 (10～12 月)	第 4 (1～3 月)
内 容	・実施団体打合せ	・研修内容の決定	・研修実施① ・競技団体、有識者 意見聞き取り	・研修実施② ・有識者の意見収集 ・R9 年度対象者検討

<参考：SCSC の概要>

項 目	内 容
概 要	スポーツ庁が所管する、アスリートのキャリア形成の環境を整備するために創設された組織集合体
目 的	アスリートが競技者としてのキャリアと引退後のキャリア、その両方で自らの可能性を最大限に発揮するためのチャレンジを可能にする社会環境を造ること。
会 員 (12 団体)	・統括団体（（公財）日本スポーツ協会等） ・競技団体（（公財）日本バスケットボール協会等）、大学、学校、チーム、クラブ
役 割	・デュアルキャリアの構築を支え、アスリートの能力を発揮できる環境を創出し、アスリートの持つ価値を社会に還元する。 ・国、関係団体・企業等が一体となってアスリートのキャリア形成を支援する体制を整備し、その適切な運営を確保するとともにアスリートのキャリア形成を支えるコーディネーター（ACC）を育成する。

3 アスリート等雇用支援事業

<概要>

区 分	内 容
目 的	アスリートが将来にわたりスポーツの成長産業化を支える人材として、県内で活躍できる環境を創出すること
取組詳細	アスリートやスポーツ指導者等を雇用した企業へ支援金を支給 (1,000 千円/人(3年間))
補 助 先	(公財) 静岡県スポーツ協会

<雇用実績>

年度	人数	企業数	競技数
4 年	7 名	7 社	5 競技(フェンシング、体操、陸上競技、ラグビー、バスケットボール)
5 年	7 名	6 社	5 競技(体操、野球、バレーボール、陸上競技、ラグビー)
6 年	6 名	4 社	5 競技(バスケットボール、野球、体操、空手道、陸上競技)
7 年	4 名	3 社	3 競技(体操、野球、陸上)

スポーツコミッションShizuokaの法人化と取組

(スポーツコミッションShizuoka)

1 要旨

スポーツの成長産業化に向けて、スポーツツーリズムの推進による交流人口の拡大を図るため、「スポーツコミッションShizuoka」を令和8年4月に一般社団法人化した。引き続き、大会・合宿誘致をはじめとするスポーツツーリズムの推進役を担う。

2 一般社団法人化の背景

- ・民間人材の登用により、専門性や関係者との人脈を組織として継続的に蓄積する体制を構築する。
- ・受入情報の収集、調整等を一元化し、ワンストップコーディネート体制を整備する。
- ・会費やスポンサー収入等の自主財源を確保し、機動的かつ継続的な事業展開を図る。

3 組織概要と主な取組

(1) 組織体制

名称	一般社団法人スポーツコミッション Shizuoka
組織	代表理事：田上悦史 事務局：県派遣職員及び民間人材で構成 会 員：5 者（製造業、サービス業、情報通信業など）
設立	令和8年4月23日登記
所在地	静岡市葵区鷹匠

(2) 主な取組

区分	内容
大会・合宿誘致	・県下市町等と連携した大会・合宿誘致、受入調整
旅行商品企画	・スポーツと地域資源を組み合わせた旅行商品の企画、販売 ・ビーチマリンスポーツ等における新たな観戦モデルの創出
会員企業との共創	・大会・合宿の機会を通じたマーケティング機会の創出 ・静岡 SOIP 事務局運営等による共創事業の創出推進

4 スポーツ推進計画関連指標

スポーツコミッションShizuokaは、大会・合宿や国際大会の誘致による交流人口の拡大、スポーツ体験と観光を組み合わせた旅行商品の企画、会員企業とのマーケティング共創等を通じて、宿泊・飲食・物販等の消費喚起と新たな市場の創出を図る。法人化により確保した自主財源を生かし、これらの取組を継続的・機動的に展開することで、本指標の達成に寄与する。

指標		現況(2024年度)	目標(2028年度)
成果指標	静岡県内のスポーツ市場規模	2,863億円	3,480億円